

秋田県立秋田北 高等学校 中期ビジョン（平成28年度～令和2年度 5か年計画）

I 本校が目指す5年後の姿（具体的な目標）

1 学校の現状や課題

本校は明治34年（1901年）に秋田高等女学校として創立され、秋田県内では最も古い女子高校として、長きにわたって県内女子教育を牽引してきた。平成20年度からは男女共学校として、新たな歴史の幕を開き、現在（H30.4月）男子179名（25%）、女子535名（75%）が学んでいる学校である。

3万4千人を超える卒業生は、地域社会を支えるだけでなく、プロフェッショナルとして多彩な才能を発揮し、県内外あるいは国際的な舞台上で、政治、文化、教育、スポーツ、芸術など様々な分野で活躍している。

女子校時代からの明るくのびやかな気風と高い知性、品性、感性を求める伝統を受け継ぎつつ、人間力の育成、キャリア教育の充実、国際理解教育を積極的に推し進めている。伝統ある進学校として、今後も学業、部活動の両面にわたって高いレベルでの活躍が期待されており、卒業生は将来、少子高齢化の進む秋田県にあって、地域のリーダーとして中心的な役割を担う人材、グローバル社会をたくましく生き抜く人材となることが求められている。

2 学校を取り巻く将来の状況の予測

平成28（2016）年度 第七次秋田県高等学校総合整備計画開始  
（～平成37年度）

※ 県内の進学の中心校としての役割を果たしてきた学校（10校）の中に本校を位置付ける。

平成29（2017）年度 探究活動等実践モデル校事業指定（～平成30年度）

平成30（2018）年度 探究活動等実践モデル校事業研究発表

令和元（2019）年度 高校生のための学びの基礎診断 開始

令和2（2020）年度 東京オリンピック・パラリンピック開催  
大学入学共通テスト開始

令和3（2021）年度 創立120周年記念式典挙行

今後、本校への通学地区の生徒数が減少することから学級減も予想される。さらに、これからの時代を生き抜くために必要な資質・能力の育成を目指し、授業の中で主体的・対話的で深い学びを実現することが求められる。また、高大接続改革の一環により大学入試においても思考力・判断力・表現力を一層重視して評価する方向で改革が進められていることから、こうした時代の流れに柔軟に対応することが必要である。

第七次秋田県高等学校総合整備計画では、本校が県内の進学校の中心校としての役割を果たしてきた学校として位置付けられ、大学進学等を経て社会に寄与し得る有為な人材を育成する学校として期待されているため、本校の教育の質的向上がこれまで以上に求められる。

### 3 目指す方向性や学校像

#### 【育成する人間像】

- (1) 生涯にわたって主体的に学び続ける意欲を持ち、知性・品性・感性に優れ、総合的な人間力を有する人間
- (2) 国や地域に愛着を持ち、よりよい社会の形成に向けて、リーダーとして活躍できる人間
- (3) グローバルな視点から課題を見出し、その解決に向けて他と協働して取り組むことができる人間

#### 【育む環境】

生徒が学校の教育活動全般にわたり、主体的に学びに向かい、論理的に思考し、根拠を持って判断し、的確に表現することができる人間へと成長するよう、「北高型授業」を推進することにより3年間を通して学力向上を図る学習環境を整える。

### 4 5年間で達成を目指す具体的目標

- (1) 進路志望別達成目標
  - ①国公立大学進学者毎年100名
  - ②難関大学進学者毎年10名
  - ③医学部医学科への合格者（地域医療に貢献する人材の確保）
  - ④就職希望者の内定率100%
- (2) 部活動等の実績
  - ①全国大会出場毎年7部（運動部・文化部）以上、全国大会入賞5年間で2部以上
  - ②2020東京オリンピック・パラリンピックで活躍できる人材の育成
  - ③秋田県の競技力向上に寄与する人材の育成

## II 具体的な取組等

### 1 主体的・対話的で深い学びを実現するための学習指導の充実

- (1) 「論理的に思考を深め、根拠を持って判断したことを、相手にわかりやすく的確に表現する力」の育成
  - ①学習目標を達成するための効果的な発問の工夫
  - ②言語活動の充実（個による思考と集団による対話的活動）
  - ③授業における「振り返り」の効果的な実践
  - ④思考の過程を記録し、根拠ある判断に繋がるオリジナルなノート作成の奨励
- (2) 探究活動の充実
  - ①課題研究への取組の充実と校内外での成果発表機会の設定
  - ②数理探究クラスを中心とする秋田大学・秋田県立大学との連携（研究室訪問、大学教員による出張講座、大学主催による探究型講座への参加等）
- (3) 授業力の向上を図るPDCAサイクルの構築
  - ①「チームでつくる『北高型授業』」の確立
  - ②日常的な互見授業の実施
  - ③校内授業研修会の公開及び外部講師による研修会の実施

## 2 良識ある人間を育成する生徒指導の充実

- (1) 校内外での元気なあいさつの励行
- (2) 情報モラル教室、薬物乱用防止教室、性教育講座、がん講座、交通安全教室等の社会規範や生きる力を育む事業の充実
- (3) 登下校指導によるマナーアップへの意識向上

## 3 優れた感性を育てる特別活動等の充実

- (1) 文武両道を実現するための支援（運動部の生徒に対する学習支援等）
- (2) 生徒の主体性を育む学校行事、部活動等の運営
- (3) 保護者会や同窓会との連携による学校教育活動の充実
- (4) 専門的な技術指導を必要とする部活動における外部指導者の活用
- (5) 地域ボランティアの奨励
- (6) 生徒会専門委員会の活性化及び運営の充実
- (7) 国際交流活動の推進

## 4 学びに向かう生徒を育てる進路指導の充実

- (1) 主体的な進路選択につながる進路指導の実践
  - ①さらなる学力向上を目指すステップアップ講座、ジャンプアップ講座、集中講座等の効果的な実施
  - ②生徒・保護者との進路相談体制の整備
  - ③系統別エキスパート制や難関大サポート制を生かした個別指導の充実
  - ④公務員講座、就職セミナー等による就職志望者への支援
- (2) 地域等と連携したキャリア教育の充実
  - ①地元事業所でのインターンシップの奨励
  - ②県内大学との連携による体験的学習活動の充実（教師ミニミニ体験、グローバルセミナー、イングリッシュ・ヴィレッジ、フロムプロジェクト、出張講座等）
  - ③各教育機関（小学校・中学校・特別支援学校等）との連携（小学校助手派遣等）
  - ④同窓会（あげまき会）との連携（北の文化教室等）
  - ⑤県立図書館との連携（課題研究への資料提供等）
  - ⑥教育委員会主催の各事業への参加  
（高大接続高校生サマーキャンプ、高校生米国語学研修、メディカルセミナー、航空機産業人材育成事業等）
  - ⑦大学生との交流（秋田大学・秋田県立大学からのインターンシップ受け入れ、秋田大学なるほど数学出前プログラム、卒業生による講話等）